

清浄園 汚泥焼却灰(肥料)等の放射性物質濃度について

○汚泥焼却灰の放射性物質濃度の測定結果

清浄園は、家庭のし尿や農業集落排水施設等で発生する汚泥を処理する施設です。処理後に発生する汚泥焼却灰は、「サラ・さらさ」という名称で農家や家庭菜園用の有機肥料として販売し、今まで有効活用を図ってきました。

1. 隣接する上田終末処理場の汚泥等から放射性物質が検出されたことから、清浄園の汚泥焼却灰を測定した結果、放射性セシウムが検出されました。このため、国の基準が示されるまでの間、肥料(焼却灰)の販売を中止し、施設内に保管してきました。
2. その後、農林水産省から肥料原料としての基準値(セシウム濃度 200 ベクレル/kg 以下)が示されましたが、7月に再度汚泥焼却灰を測定した結果、下表のとおり基準を上回りました。このため肥料の販売を引き続き中止し、すべて袋詰めした後、施設内で保管しています。

(11月18日現在のストック量:約70.2トン)

3. 今後も毎月1回程度は、放射性セシウムの測定を行いながら、状況を監視していきます。
4. 一方、現在保管している焼却灰は、環境省の埋立処分が可能な基準値(8,000 ベクレル/kg 以下)は下回っているため、廃棄物として処分する方向で検討しています。

採取日 (平成 23 年)	測定値(ベクレル/kg)			
	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム合計
5月19日	不検出	90	100	190
7月14日	不検出	320	345	665
8月18日	不検出	300	360	660
9月21日	不検出	250	270	520
10月20日	不検出	220	270	490
11月17日	不検出	180	230	410

○空間放射線量率の測定結果 (地上高さ1メートルで測定)

測定日	天候	測定場所	放射線量(マイクロシーベルト/時)
7月27日	晴	施設敷地内 7地点	0.04~0.06
10月20日		施設敷地内 4地点	0.04~0.05

